

# 「刊行に当たって」

”明日のTOKYO“作文コンクールは、一般財団法人東京都人材支援事業団が実施する公益事業の一環として、都内在住又は在学の中学生を対象に毎年実施しており、三十一回目を迎えました。

今回は、「持続可能な未来の東京を目指して〜わたしたちの暮らしと環境問題〜」というテーマで募集を行ったところ、六、五二七編と多くの応募をいただきました。

東京都では、人が輝く「未来の東京」を創り上げるために様々な取組を進めています。その取組の一つとして、失われている自然、絶滅の危機にある動植物、自然災害を引き起こす気候変動や海洋汚染などの環境問題への対策を進めているところです。しかしながら環境問題は、身近な地域の課題から地球規模の課題まで、その一つ一つが私たちの暮らしに深く関係しています。そこで、将来、未来を切り拓く中学生の皆さんには、普段の暮らしの中で環境問題を意識した経験を基に、持続可能な未来の東京の実現に向けて一人一人ができることについて、新たに具体的な想像を巡らせることで、環境問題を「自分事」として捉える意識をはぐくむ一助としていただきたいという趣旨のもと、今回のテーマを設定しました。

私も応募作品を拝読させていただきました。皆さん一人ひとりが持続可能な未来の東京について、若い感性のもと自分自身の考えをそれぞれに工夫を凝らして表現していただき、大変感銘を受けるとともに、頼もしく感じました。これからも、皆さんがこの作文を書く中で感じた思いを胸に、環境問題への関心を深め、将来に活かしていただきたいと思えます。

この作品集は、皆さんから寄せられた数多くの素晴らしい作品の中から、受賞された二十一編の作品を掲載したものです。これらの感性豊かな作品を、都民の方々にご覧いただくことで、より多くの方に環境問題に対する当事者意識の大切さを感じていただければと思います。そして、これからも、都民一人ひとりが輝き、活力を生み続ける東京にしていくために、”明日のTOKYO“を担う中学生の皆さんが健やかに成長し、ご活躍いただけることを心から願っております。

結びに、この作文コンクールの実施に当たり、ご尽力いただきました、東京都教育委員会、一般財団法人東京私立中学高等学校協会をはじめ、多くの関係者の皆様に対しまして厚く御礼申し上げます。

令和五年一月

一般財団法人東京都人材支援事業団理事長 榎本 雅人